

編輯室の内外

地方長官會議では積極的に道路を改良せ

よと訓示するやら、政府の道路政策の改定が發表さるゝやら路政頓に緊張味を示し、吾々の主張の實現が近いやうに爲つた、繼續費の設定可、起債も亦之を認むと、正月とお盆が一時に來たやうな騒ぎ、しかしながら其の方策を誤らば消極政策を標榜する内閣が顯はれたときに、又之を以て放漫政策と評するに違ひない、今から之に對して備ふるの用心が肝要である、夫れば道路を改良して財政緊縮を言はしむる餘地と必要が無い程度に迄、民力を進展せしめて置くことである、夢、忘れてはならむ。

現時の道路政策も現内閣の前身原内閣の産物だ、今之を改定して其の精神を徹底せ

しむること、夫れば現内閣の責任である。道路問題を解決するだけでも内閣を組織した効果がある譯、大にやるべし、唯だ言ふだけが能て無い。

此風雲に目醒めたものか、編輯室に參考資料送付の注文山積してある、併し其の參考資料は地方にある筈で、最も有力なものは地方交通の實際が夫れである、其の實際を基礎として計畫すれば萬違ふ所はあるまい、外國の模倣やら他縣の計畫を真似て、自我を忘れた計畫は僧の採らざるところ、地方が如何な計畫を樹てるかは賢明な土木主任官の手腕に俟つより外ないのであるが、其の適否は一面に於て主任官の能力を量る好材料ともなる、此後の成績に徴して批評してみ度い。

蒸し暑い編輯室に筆を採つてゐるのも、随分辛いが、本誌の爲に執筆さるゝ諸士の

勞苦を想つて、僧共は暑いと言ふ言葉の使用を禁止してゐる、其の御蔭でもあるまいが、本月は随分諸方面から澤山の原稿を載いた、其の御好意に對して全部登載したかつたのであるが、紙数の都合上分割して登載するの已むなきに至つた、茲に謹で謝罪しておく(た)

本號定價 五拾錢

一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内

發行所 社國 道路改良會

發行兼 編輯者 上山陸造

東京市小石川區諏訪町五十六

印刷所 常磐印刷所

印刷者 堀江關武